

春季リーグ戦開催にあたって

関東学生卓球連盟会長 甘竹 秀雄



秋季リーグ戦を迎えるにあたり、各校新しい戦力を整え、どのようなチームづくりがなされ、どのような戦いを観せていただけるのかとても楽しみです。

関東学連創立80周年の昨年は、尼崎インカレを制した男子早稲田大学、女子青山学院大学が、1ヶ月後の秋季リーグ戦で敗れ、明治大学、淑徳大学が優勝、まさに関東学連の各校が熾烈を極め競い、日学連主催大会全8種目制覇も当然のごとく、学生卓球界を索引し

た1年でした。

しかしながら今現状の卓球界を考えた時、やはり関東学連が奮起し、卓球日本の再建を担っていかねばなりません。強い意志のもと高い目標を掲げ、『世界』を目指す信念を持った、志の高い選手達の奮起を期待して止みません。

輝かしい栄光の歴史と伝統を積み重ねてきた『関東学生リーグ』が、再び世界へ挑む『志高き者の戦場』となるよう、役員・選手一丸となって取り組みましょう。

今大会開催にあたりご尽力いただきましたOB連盟、関係会社各位、協力審判員の皆様、学生幹事諸君、ならびに国立代々木競技場第二体育館、東村山市民スポーツセンター、各ブロック幹事校の皆様に、心より感謝申し上げますと共に、今後ともより一層のご指導ご協力のほどよろしくお願い申し上げます、開催の挨拶といたします。

春季リーグ戦開催にあたって

関東学生卓球連盟理事長 板垣 賢一



『関東学生卓球リーグ戦』は、卓球を志す者の憧れのステージとして、これまで数多くの名勝負を繰り広げ、日本卓球界の歴史を築いてきたと言っても過言ではありません。

関東学連創立80周年の昨年度、改革の第一歩を踏み出すべく『関東学生卓球チームカップ』を新設し、団体戦の二本柱を確立しスタートさせました。リーグ戦が各校の選抜代表による伝統のチーム戦であるのに対し、チームカップは登録選手が誰でも団体戦に参加でき、底辺強化および参加意識の高揚を目的とし、頂点は必ずエース対決が実現する『ガチンコ対決』と、特徴を各々活かせるよう事業の充実を図りました。

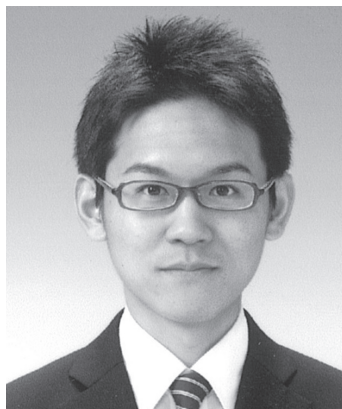
さらに今季リーグ戦より1部リーグを8校編成とし、20年ぶりに1部のみ代々木単独開催とし、2部を幹事校による運営に戻す改革を実現。ぜひ活性化が見られるよう期待すると同時に、1部校においては決して緩めることなく強い意志のもと戦っていただきたい、単なる繰上げではありません。また2部校においては、代々木の憧れのステージは決して甘くはない、厳しい道程であることを自覚し、懸命な戦いを観せてくれることを重ねてお願いいたします。そして、いつも幹事校を中心に懸命な運営をいただいております3部から6部の皆様方には、サポートが行き届かないことがあるかもしれませんが、引き続きご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

『関東学生リーグ』が、再び世界の覇権を目指す志し高き学生選手の“戦場”として活気溢れる熱戦を繰り広げ、卓球ファンに感動を与えられるよう、役員・選手一致団結し、頑張っていきましょう。

本大会開催にあたりご尽力いただきましたOB連盟、関係会社各位、協力審判員の皆様、学生幹事諸君、ならびに国立代々木競技場第二体育館、東村山市民スポーツセンター、各ブロック幹事校の皆様、御礼申し上げますと共に、今後ともより一層のご指導ご協力をお願い申し上げ、開催の挨拶といたします。

春季リーグ戦開催にあたって

関東学生卓球連盟幹事長 大澤 雄一



新緑の季節となり、本連盟最大の大会行事の一つである春季リーグ戦が、代々木第二体育館をメイン会場とする19会場で開催されることはまことに喜ばしいことです。

今季リーグ戦より1部8校制となり、伝統ある関東学連上位校という誇りをより多くの大学が享受できるようになりました。今回の制度変更を転機とし、より白熱した大会になり関東のレベル向上になることを期待しております。

春季リーグ戦は新チームとして初めての団体戦となります。独特の雰囲気を持つこのリーグ戦で今回も新たな素晴らしい1ページが刻まれる事を祈念しております。

最後になりましたが、本大会の開催にあたりましてご尽力くださいました諸先輩方、関係者各位の皆様にご心から御礼申し上げますと共に、今後ともより一層のご指導、ご支援下さいますようお願い申し上げます。